



第 32 号

平成22年5月1日発行

発行

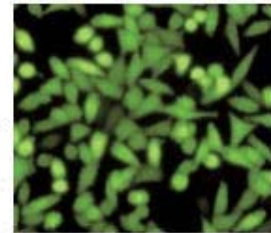
愛知県がんセンター

Tel. 052-762-6111(代)

## 市民公開講座『高校生のための実験・体験コース』

がんセンター研究所 広報委員会

愛知県がんセンターでは、市民公開講座の一環として、研究所主催の「高校生のための実験・体験コース」を開催しています。このコースは、東海地区にお住まいの高校生の皆さんから有志を募り、実際にご自身の手で生命科学実験を体験してもらおうというものです。がん研究の一端に触れることで、当研究所が日夜取り組んでいる、がんの予防・診断・治療に向けた基礎的な研究の重要性を理解して頂くことも目的としています。高校生の皆さんにとって、普段なかなか訪れることのできない研究所内部を見学したり、研究所のスタッフに「研究」という仕事について色々質問したりできる良い機会でもあり、将来の進路を考える上で大いに参考になるのではないかと思います。



2009年度は8月21日に男子7名、女子8名の高校生有志の皆さんに参加して頂き、「ノーベル賞に輝いた緑色蛍光タンパク質(GFP)で細胞を光らせよう」をテーマとして行われました。参加して頂いたすべての皆さんが、発光クラゲ由来の遺伝子を自らの実験操作により培養細胞に導入す



る事に成功しました。細胞が緑や赤の蛍光を放つようになる様子を実際に顕微鏡で観察でき、とても感激して頂いた事と思います。こうした技術は、現在のがん研究には不可欠のものであり、最先端の医学研究をチョッピリ覗いていただく事が出来たのではないかと考えています。

# 基礎病理学研究から臨床に向けた 展開研究へ

研究所からの報告

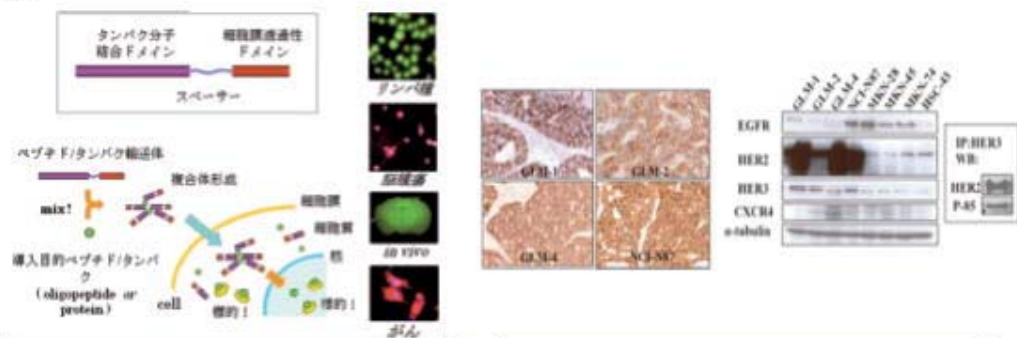
—腫瘍病理学部— 近藤 英作



腫瘍病理学部長

近藤 英作

病理学はヒトの病気の原因を明らかにしていくことを研究する学問です。現在の病理学では、その研究方法にヒト疾患の組織形態学的特徴の解析だけでなく、なぜそのような形や働きの変化が起こるのかを遺伝子・タンパク分子レベルで分子発現の特徴、分子機能などと併せて総合的に解析していくことが必須となっています。私たち腫瘍病理学部では広汎なヒトの病気の中から、特に問題となっている治りにくい悪性腫瘍(がん、肉腫、血液腫瘍、脳腫瘍など)に焦点を絞って、細胞や腫瘍組織の特徴の洗い出しとその成果を応用するためのツール開発を通じ、さまざまな治療技術の研究を行っています。例として、腫瘍細胞の発育を抑えるタンパク質やRNAをがん細胞に運ぶ新しいシステムの開発や、胃がんに対する先進抗がん剤EGFR/HER2チロシンキナーゼ阻害剤(Gefitinib, Lapatinib)の効きやすさのしくみなどを明らかにしてきました。これらの研究を通してがん患者のみなさんへの将来的貢献を使命と定め、研究員一同は日々ベストを尽くしながら腫瘍病理学研究を進めております。



病理組織の解析から、高悪性度のがん細胞ではいくつかの重要な癌抑制遺伝子の発現が実際に失われていることが判っています。この特徴を利用し、ベクターを用いて細胞内に癌抑制遺伝子の機能を代償する低分子タンパクを導入する技術を作り、さまざまながん細胞の増殖を抑える制がん技術研究を進めています。

胃がんの肝転移株から得たHER2高発現の胃がん細胞株はEGFRチロシンキナーゼ阻害剤に対して高感受性を示し、その機構としてHER2活性化されたPI3K/Akt経路が薬剤により遮断されアポトーシスが起ることを明らかにしました。それは胃がん肝転移に対する分子標的治療法の開発にもつながります。

## スタッフの紹介



## 薬剤部

薬剤部では内服薬や外用薬の調剤、注射薬の払い出し、抗がん剤のミキシング、服薬指導、麻薬の管理、DI業務(医療スタッフへの医薬品情報の提供)などを行っています。抗がん剤では、分子標的薬と呼ばれる新しい薬も次々に開発され、抗がん剤による治療も日進月歩で、私たちも最先端のがん治療の一翼を担っています。また、市販される前の医薬品の臨床試験(治験)では、事務局の仕事も行っています。



中央病院からの報告

## 子宮頸がん予防ワクチン

—婦人科部— 中西 透



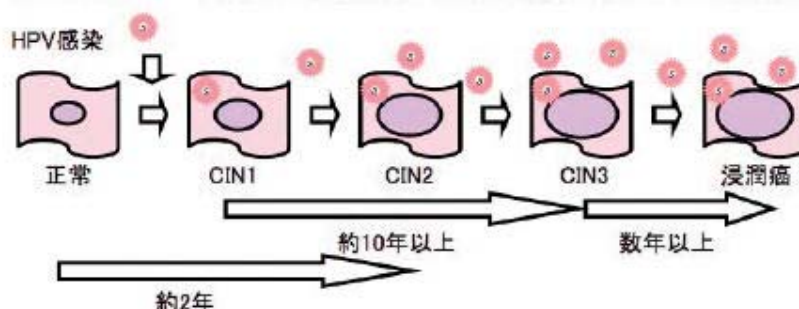
婦人科部長

中西 透

子宮頸がん予防ワクチンが2009年12月に日本で使用出来る様になりました。子宮頸がんは患者さんの命を脅かすとともに、たとえ治癒しても子宮や卵巣機能を喪失させる可能性があるため、妊娠・分娩を希望されている20～30歳代の患者さんにとっては非常に大きな問題でした。今回発売されたのは、子宮頸がんの発癌過程に関与するヒトパピローマウイルス (HPV) に対するワクチンで、この初期感染を防止することで発がんへと誘導されるのを防ぐものです。

悪性腫瘍予防を目的とする初めてのワクチンで、有効性が非常に期待されるのですが、予防効果が完全ではないため、子宮がん検診は通常通り受診するよう推奨されています。またHPVの感染経路から、対象は10才以上の女性とされており、すでに感染した患者さんに対する有効性は十分に確認されていません。

### ヒトパピローマウイルス感染から子宮頸がん発生への過程



### ◆ 診察医の紹介 ～胸部外科部～

胸にできた腫瘍性病変、特に肺がんや食道がん手術を主に担当しています。患者さんの利益を第一に考えて、説明と同意を徹底し、できる限り患者さんへの悪影響が少ない方法で、最大限の効果が得られるよう心がけています。

福井高幸医師 安部哲也医師 伊藤志門医師  
光富徹哉胸部外科部長 波戸岡俊三集中治療部長



## 主な診療案内

平成22年5月1日現在の中央病院外来診療担当一覧です。

受付時間：午前8時30分から午前11時30分まで

(自動再来受付機) 午前8時から午前11時30分まで

診療科	月	火	水	木	金
総合初診	波多野	樋田	山雄	森島	丹羽
消化器内科	山雄(初診) 田近・河合・原	山雄(初診) 水野(伸)・河合 澤木	山雄(初診) 澤木・原・近藤	澤木(初診)・丹羽 脇岡・赤羽・佐伯	丹羽(初診) 田近・水野(伸)
呼吸器内科	吉田(初診) 堀尾(芳)(再診)	樋田(初診) 吉田(再診) 朴(裕)(再診・初診)	清水(涼)(初診) 樋田(再診)	堀尾(芳)(初診) 清水(涼)(再診) 朴(裕)(再診・初診)	(交代制) 樋田・堀尾(芳)・吉田 清水(涼)・朴(裕)(初診)
循環器	波多野			波多野	
血液・細胞療法	山本(初診) 田地(再診)	森島(初診・再診) 山本(再診)・大木(再診) 大野(随時)	大木(初診) 田地・森島(再診)	森島(初診・再診) 山本(再診)・小野田	田地(初診) 大木(再診)
薬物療法	室・設楽	宇良・高張・横田	室・高張(予約のみ)	宇良・近藤(千)	室・高張・設楽・横田
頭頸部外科	長谷川・花井		長谷川 兵藤(午前のみ)	小澤 平川(第1-3予約のみ) 花井(第2-4予約のみ)	平川
形成外科	兵藤・神山		兵藤	兵藤	
胸部外科	安部	光富(予約のみ) 福井	伊藤(志)	光富・波戸岡	篠田・光富 波戸岡・伊藤(志)
乳腺科	藤田(初診)・服部(再診) 林(裕)(再診)	林(裕)(初診)・岩田(再診) 服部(再診)・藤田(再診)	服部(初診)・岩田(再診) 堀尾(再診)	堀尾(初診)・岩田(再診) 林(裕)(再診)・藤田(再診)	岩田(初診)・服部(再診) 堀尾(再診)・藤田(再診)
消化器外科	小森(康司) 伊藤(誠)(第1-3・5) 平井・三澤(第2-4)	金光・三澤 千田(皮膚科診察室)	小森(康司) 伊藤(友) 清水(泰)・二村	平井(孝)・佐野 伊藤(誠)	(予約のみ)
整形外科	杉浦・山田	杉浦	山田		杉浦・山田
泌尿器科	林(宜)(初診)・小倉 脇田(予約のみ)		小倉(初診)・脇田		脇田(初診)・林(宜) 小倉(予約のみ)
婦人科	吉田(康)(初診) 河合(要)(初診)	中西(初診) 吉田(康)(初診) 伊藤(剛)	伊藤(剛)(初診) 中西	中西(初診)(第1-3・5) 吉田(康) 河合(要)(初診)	中西(初診) 伊藤(剛)(初診)
放射線診断部	稲葉(初診)・金本		稲葉(初診)・山浦	佐藤	稲葉(初診)・加藤
放射線治療部	古平(初診)・富田(再診) 古谷(再診)	古谷(初診)・古平(再診) 立花(再診)	立花(初診)・古平(再) 古谷(再診)	古平(初診)・富田(再診) 古谷(再診)	富田(初診)・古平(再診) 立花(再診)・古谷(再診)
専門外来	リンパ浮腫外来 兵藤(伊)(第2-4)		ペインクリニック 木村(午後のみ)	禁煙外来(予約のみ) 田中・伊藤	リンパ浮腫外来 岩田(伸)(第1) 平井(正)(第2-4)

※ 医師名の後の数字は、月の週を表します。

※ 変更(休診)等がございますので、お電話でご確認ください。

※ 再診予約制：診察券をお持ちの方は、診察予約をしてください。052-764-2911(直通) 午前9時～午後5時(土・日・祝・年末年始除く)

## 交通のご案内

## 地下鉄利用：「自由ヶ丘」②番出口から 徒歩7分

◎名古屋・栄から 所要時間：名古屋から約30分  
東山線「藤ヶ丘」行き乗車、「本山」乗り換え、  
名城線「左回り」乗車、「自由ヶ丘」下車。

◎金山・栄・大曽根から 所要時間：金山から約35分  
名城線乗車、「自由ヶ丘」下車。

## 市バス利用：「千種台中学校」下車 徒歩4分

◎名古屋駅から 所要時間：名古屋駅から約40分  
基幹2系統「光ヶ丘」または「猪高車庫」行き乗車、  
「千種台中学校」下車。

◎星ヶ丘から 所要時間：星ヶ丘から約20分  
星ヶ丘11系統「地下鉄自由ヶ丘」行き乗車、  
「千種台中学校」下車。

愛知県がんセンター中央病院 Tel. 052-762-6111 Fax. 052-764-2963

がんセンターNewsは古紙配合再生紙を使用しています。

〒464-8681 名古屋市千種区鹿子殿1-1 ホームページ：<http://www.pref.aichi.jp/cancer-center/>